

【2021年2月 イーアイデム会員対象 仕事探しに関するアンケート調査】

直近5年以内の選考・採用辞退経験がある割合は3割以上

「連絡せず、採用・選考を辞退した」事情は「企業からの連絡が遅かったから」が50.0%で最多

総合人材情報サービスの株式会社アイデム(本社:新宿区新宿/代表取締役社長:梶山 亮)は、2021年2月に総合求人サイト『イーアイデム』を通じて求人に応募した会員を対象に仕事探しに関する調査を実施しましたので、結果を一部抜粋してお知らせします。

◆ 調査結果

【新型コロナウイルス感染症の影響】

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事を探している人は48.4%

【新型コロナウイルス感染症拡大前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったか】

全体では「何らかの条件を変更した」42.6%、「条件・待遇は特に変えていない」57.4%

「感染症影響あり」の人は「条件・待遇は特に変えていない」割合が44.3%

【直近5年以内の選考・採用辞退経験の有無】

「応募企業に連絡したうえで、選考・採用を辞退したことがある」29.8%、

「応募企業に連絡せず、採用・選考を辞退したことがある」4.8%、辞退経験がある割合は3割以上

【辞退に至った事情(選考・採用辞退経験者のみ)】

「連絡せず、採用・選考を辞退した」場合では、「企業からの連絡が遅かったから」が50.0%で最多

調査概要

調査対象	調査方法	調査期間	有効回答
総合求人サイト『イーアイデム』の会員で、 2021年2月1日～2月28日の期間に 『イーアイデム』から求人に応募した人	インターネット調査	2021年2月2日～3月5日	289名

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

◆ 調査・分析担当者のコメント:アイデム 東日本事業本部 データリサーチチーム 関 夏海

2月の調査結果では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしている人が約5割に増加しました。緊急事態宣言が出ていた地域も多く、その影響が少なからず表れているようです。

求人に応募した人に、直近5年以内の選考・採用辞退経験をきいたところ、全体で約3割がその経験があると回答しました。特に正社員での仕事探しをしている人の半数弱が選考・採用辞退経験があるということでした。「連絡した上で、選考・採用を辞退したことがある」場合では、「採用条件に折り合いがつかなかったから」が最も多い理由として挙がりました。納得できる条件で仕事を探している姿勢が伺えます。採用・選考過程の再検討材料として、参考になれば幸いです。

※ 本ニュースリリースは調査全文の一部を抜粋しているため、調査全文をご希望の際は、下記広報担当へお問い合わせいただくか、下記のウェブサイトからダウンロードしてください。

<https://apj.aidem.co.jp/enquete/>

<本件に関するお問い合わせ先> 株式会社アイデム 広報担当/望月 電話:03-5269-8780

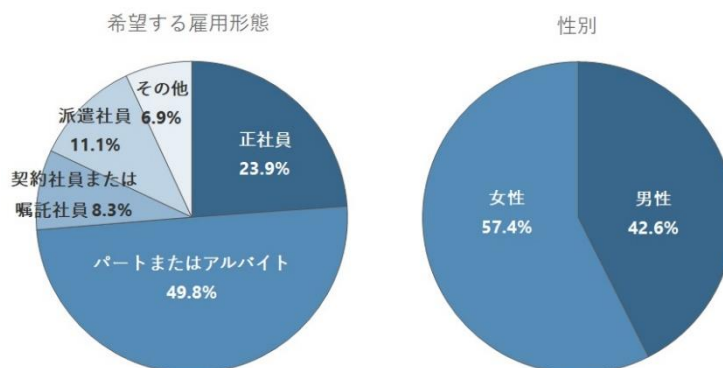
<株式会社アイデム 会社概要>

アイデムは1970年の新聞折込求人紙に始まり、人に「はたらく」感動を、企業には「人材」という価値をつなぎ、地域が発展できる社会の実現を目指してきました。求人サイト「イーアイデム」等の求人メディア、逆求人型新卒採用サイト「JOBRESS 新卒」、採用ホームページ構築サービス「Job ギア探促」、新卒・中途の人材紹介といった時代の変化にも対応した採用支援だけでなく、労働雇用状況や社会の課題にも目を向けた調査分析、情報提供を行っています。これからもアイデムは、人と企業をつなぐ人材サービスを展開していきます。

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-4-10 電話/03-5269-8711(代) <https://www.aidem.co.jp>

調査結果の詳細(一部抜粋)

【回答者プロフィール】



【新型コロナウイルス感染症の影響】

新型コロナウイルス感染症の影響で仕事を探している人は 48.4%

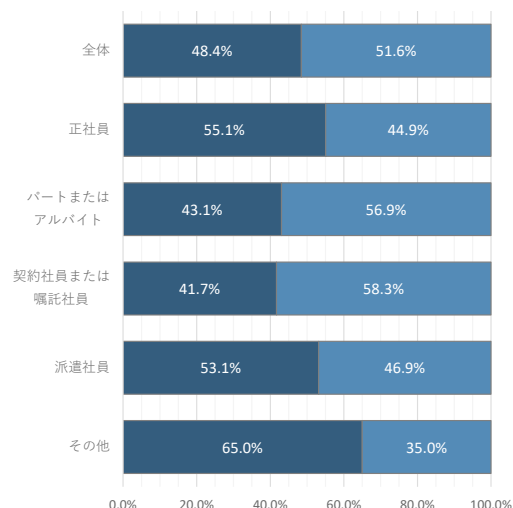
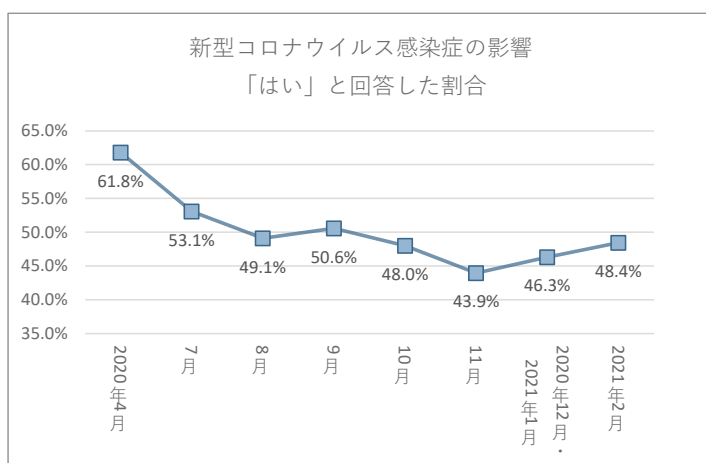
今回仕事探しをしている理由に「新型コロナウイルス感染症の影響」は関連しているかをきいた。全体で48.4%が「はい」と回答し、約 5 割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて仕事探しをしていたことがわかった。4 月調査時と比較すると、61.8%から 13.4pt 減少しているが、前回調査時より 2.1pt 増加した。

希望雇用形態別に影響の有無をみると、「正社員」「派遣社員」では半数以上が「はい」と回答し、全体の数値より高くなった。

「パートまたはアルバイト」「契約社員または嘱託社員」希望の人は約 6 割が「いいえ」と回答し、感染症の影響を受けて活動をしている人が少なかった。

今回仕事探しをしている理由には、新型コロナウイルス感染症の影響は関連していますか。

■ はい ■ いいえ



【新型コロナウイルス感染症拡大前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったか】

全体では「何らかの条件を変更した」42.6%、「条件・待遇は特に変えていない」57.4%

「感染症影響あり」の人は「条件・待遇は特に変えていない」割合が44.3%

新型コロナウイルス感染症拡大の前後で仕事を選ぶ際の条件等は変わったかをきいた。全体では「何らかの条件を変更した」42.6%、「条件・待遇は特に変えていない」57.4%となり、コロナ禍においても仕事探しの軸を変えない人が約6割となった。

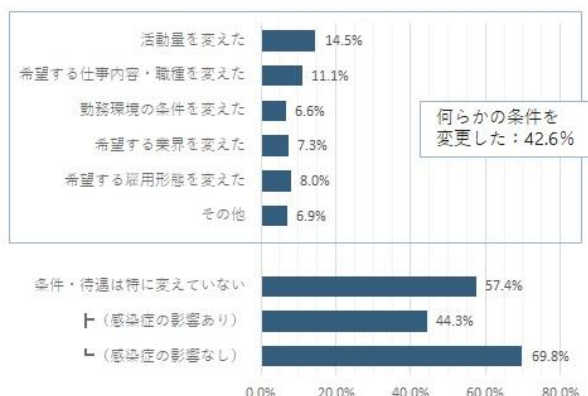
「何らかの条件を変更した」人の状況を見ると、最も多かったのは「活動量を変えた」で14.5%、次いで「希望する仕事内容・職種を変えた」が11.1%となった。副業を前提に、ダブルワークを目指す意見が多くなっていた。

「条件・待遇は特に変えていない」について、今回仕事探しをしている理由に新型コロナウイルス感染症の影響がある人とならない人を比較した。「感染症影響あり(『はい』と回答/以下同)」の人は、「条件・待遇は特に変えていない」割合が44.3%で、「感染症影響なし(『いいえ』と回答/以下同)」(69.8%)より25.5pt以上低くなっており、何らかの条件を変更した割合が大きい。

自由意見

- ダブルワークができるからこの雇用形態に変えました(パートまたはアルバイト/女性/20代)
- 正社員 アルバイト問わず希望の職種に応募した(正社員/男性/30代)
- 前はドライバーのみを見ていたが倉庫業やリフトマンで条件があればと思い転職条件は増やした(正社員/男性/40代)
- 有期雇用より無期雇用を希望するようになった(その他・無期雇用/女性/40代)
- 現在勤務している給与が減額されたため、Wワークしようと思った(パートまたはアルバイト/男性/50代)
- コロナ禍で職を失った人が多く、自分の希望する職種、条件でなくてもある程度妥協して職に就きたい(契約社員または嘱託社員/女性/60代)

新型コロナウイルスの感染拡大により、仕事探しの際に注目する条件や待遇は変わりましたか？(複数回答)



【直近5年以内の選考・採用辞退経験の有無】

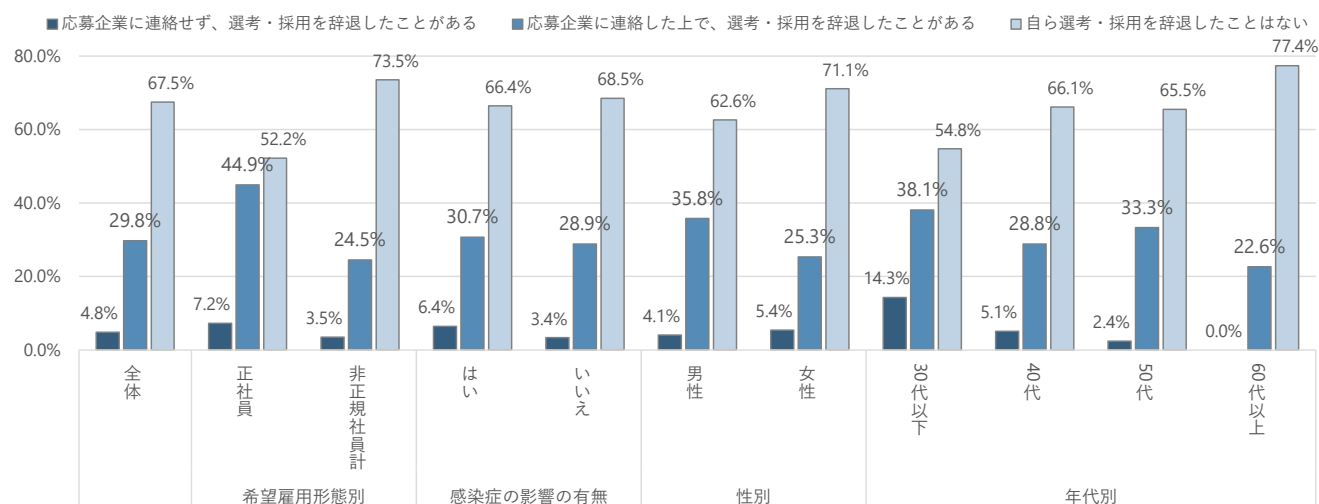
「応募企業に連絡したうえで、選考・採用を辞退したことがある」29.8%、「応募企業に連絡せず、採用・選考を辞退したことがある」4.8%、辞退経験がある割合は3割以上

直近5年以内の選考・採用を辞退した経験はあるかをきいた。全体では、「自ら選考・採用を辞退したことはない」が67.5%、「応募企業に連絡したうえで、選考・採用を辞退したことがある(以下、連絡あり辞退)」が29.8%、「応募企業に連絡せず、採用・選考を辞退したことがある(以下、連絡なし辞退)」が4.8%となり、辞退経験がある割合は3割を超えた。

希望雇用形態別にみると、「正社員」希望の「連絡あり辞退」は44.9%、「連絡なし辞退」は7.2%で、どちらも全体を上回っていた。辞退経験がある割合は約半数となった。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ辞退経験のない割合が高くなった。「30代以下」では「連絡なし辞退」が14.3%となり、他の年代よりも特にならなくなった。「60代以上」では、「連絡なし辞退」の経験がある人はいなかった。

直近5年以内の就職活動または転職活動中に、以下のような経験はありますか。(複数回答)



【辞退に至った事情(選考・採用辞退経験者のみ)】

「連絡せず、採用・選考を辞退した」事情は、「企業からの連絡が遅かったから」が50.0%で最多

選考・採用を辞退した経験がある人へのみ、辞退に至った事情をきいた(複数回答)。

「連絡せず、採用・選考を辞退した」場合では、最も多かったのが「企業からの連絡が遅かったから」で50.0%、次いで「どうせ受からないと思ったから」が42.9%、「選考当日、行けなくなってしまったから」が28.6%となった。選考が進む可能性があっても、企業の反応によって自ら辞退を選択したとする回答が多かった。

「連絡した上で、選考・採用を辞退した」場合では、最も多かったのが「採用条件に折り合いがつかなかったから」で39.5%、次いで「他の企業で採用が決まったから」が36.0%、「応募後に企業に対する印象が変わったから」が30.2%となった。就業することを前提に真剣に検討した結果、辞退に至ったとする回答が多かった。

応募確認後の迅速な連絡や、求職者と気軽に連絡が取り合えるツールの導入など、企業側の応募者管理の工夫次第で解決できることも多そうだ。

